

東北ブロック 米沢大会

9月22日(日)

テーマ 「道山公現る 大胆なチャレンジ
21世紀の地域(くに)づくり」

会場 米沢市民文化会館
協賛 富門冬二氏による講演

今回の YEG の皆さんは、東北ブロックの皆さん！米沢 YEG は非常に熱心であり、合併企業からブロック大会開催の支援をしてくれ、米沢及び地域のために 21 世紀を視野にひかえ米沢 YEG は勇躍にそして大胆に地域づくりをナッシュアップしてあります。またその偉大な功でも知られるがブロック大会で開催されることでもあります。しかしこの事業には多くのテーマでもあり、さらなる進歩のために米沢 YEG はまだまだ取り組まざるを得ない課題も存在しています。この進歩のテーマを一緒に進めよう。また、大層期待で天下の米沢市はもちろんです。あのぼんざりフレームを眺め、各種交流プログラムをして仲間が盛りあがりましょう。米沢 YEG を「ついで」に「お返しするころ」を大切に。よろしくお願ひします。



北海道ブロック 砂川大会

9月2日(土)

テーマ 「連携」新たな視点、今こそ見せよう負けない力
会場 砂川公民館・砂川パークホテル・上砂川町民センター
分科会 テーマ 「連携」(上砂川町民センター)
講師 白本 聡 先生

※大会プログラム
9月1日(金) ゴルフ大会 朝日アパレルゴルフコース
北海道警察署 上砂川地区
9月2日(土) 会館会談 砂川公民館
式典 砂川パークホテル
分科会 上砂川町民センター

新未来創造に向けて

ブロック大会に集え!

地域を結び、時代をつなげ

北陸信越ブロック 魚津大会

9月20・21日(土・日)

テーマ 「「しんぎろう伝説」が今蘇える!!
じゃんと恋 2000」

会場 新聞文化ホール・東京第一ホテル魚津

分科会 第1 自転車屋から、日本最大級のパチンコの道のり
第2 気象情報から時代を学ぶ
第3 深層水の神秘
第4 世界のYKKに学ぶ
『変えるCorporate Valueを求めて』



関東ブロック 相模原大会

10月13日(日)

テーマ 「友だち100人つくろうよ!
てくてくの里から始まるYEG交流」

会場 グリーンホール相模大野、相模大野駅周辺

分科会 第1「ベンチャービジネス勝利の方程式」
第2「デジタルからアナログへ、史上最大のオフラインミーティング」
第3「相模大野トレジャーハンティング」

※大会期間中同時開催
神奈川物産展、ビジネス交流プラザ
県下青年部活動紹介ブース



近畿ブロック 宮津大会

9月7・8日(土・日)

テーマ 「原点からの発信 人の輪・智慧の輪・思ひくわ」
会場 宮津会館・(仮称)歴史の館・宮津市民体育館

■宮津 YEG45 周年記念「栄輝の地記念碑」除幕式
■近畿ブロック会長会談 ■近畿ブロック協議会報

ひととひとのつながること 45 年前、京阪神の小さな自治体「宮津」という地で創始された近畿ブロックは、日本でも最古の商工会議所青年部が発祥の地であり、この小さな自治体の出来事、それから数十年の歳月を掛け、今では YEG として全国に広がり、21 世紀の日本の経済をけん引する大きな力になりました。記念大会「宮津」は、「大団円」「光輝の地」の歴史を振り返り、「原点からの発信」というテーマで開催されます。



東海ブロック 鳥羽大会

9月29日(日)

テーマ 「TTS 輝大夢 (イツショウタイム)」

会場 三重県営サンアリーナ・鳥羽御本木真珠島

「TTS 輝大夢の舞台、開催する、盛り上げる、思いやりを生む」をテーマに、21 世紀への経済発展のための道を拓く青年経営者として実りのあるブロック大会をめざす。全国有数の観光地・鳥羽にあり、長年「TTS」としての発展と成長による影響、観光客のニーズの多様化により、観光客の減少は下降の一途を辿り、観光地の活性化である観光産業をどう盛り上げるかが重要課題としてある。鳥羽 YEG は、この課題をどう解決していくか、観光客のニーズの多様化により、観光客の減少は下降の一途を辿り、観光地の活性化である観光産業をどう盛り上げるかが重要課題としてある。鳥羽 YEG は、この課題をどう解決していくか、観光客のニーズの多様化により、観光客の減少は下降の一途を辿り、観光地の活性化である観光産業をどう盛り上げるかが重要課題としてある。



中国ブロック 鳥取大会

10月21日(土)

テーマ 「風・流・砂・渡 鳥取見聞録」

会場 グリーンホール相模大野、相模大野駅周辺

分科会 第1 砂丘見聞録
第2 少子化問題についてパネルディスカッション
第3 癒し…温泉と健康について

※大会期間中同時開催
郷土物産展開催予定・技術交流プラザ
広報誌揭示板



九州ブロック 柳川大会

10月14・15日(土・日)

テーマ 「21世紀へのプロローグ・燃やせ若き情熱!九州創世紀」

会場 柳川市民会館

分科会 第1 有明海探訪
第2 ソーラーボート体験レポート
第3 講演会 柳アサヒ飲料 舘岡氏
第4 柳川歴史探訪



四国ブロック 善通寺大会

9月4・5日(土・日)

テーマ 「さあ 新たな世紀へ! 空の里
まんてがん 善通寺」

会場 善通寺市民会館 善通寺市民体育館
善通寺農工会議棟 善通寺市内各地

分科会 第1 中心市街地活性化について
第2 地元団体代表者による講演会
第3 地元団体代表者による講演会



委員会紹介

総務委員会

今年度の総務委員会では、以下の事業を計画しております。

1. 総会、役員会の開催運営（懇親会を含めた進行）
2. 規約・組織・各大会等の検討
3. 対外的な活動の窓口担当（渉外担当）
4. 会員拡大の援助
5. その他（他の委員会に属さない事項の検討）

この中で特に長年の懸案となっておりました、規約・組織・各大会につきまして、集中的に協議を重ね、今年度中にある程度の決定までこぎつけたいと思います。現在各大会のあり方につきましては企画委員会と合同で検討に入っております。以上一年間よろしくお願ひします。



企画委員会

全国大会と全国会長研修会、そして今年度からブロック大会という高青連の重要事業に関する業務を担当する我が企画委員会では、主催地YEG、開催地YEGの方々が大会の企画・運営をやりやすいように、開催地決定から開催までの一連の業務を見直し、改善していくことと計画しております。3つの大会にはそれぞれ固有の目的があります。主催者である高青連は、主催、開催地YEGにその目的を達成していただくべく、知恵を絞り、汗をかきことをお願いするわけです。そのためには、各大会の目的をより分かりやすく示していくことも必要と考へています。開催要綱も含め改善すべきところは改善してまいります。

例年どおり、今後の全国大会、会長研修会の開催地選定に関わる業務も公正に進めてまいります。「素朴な疑問を大切に」を合言葉に、吉原副会長のご指導の下、大橋、池田、高坂、林原、若藤、八巻の協力メンバーで、一年間、戦っていきなれと思います。戦う青年部の先鋒隊として……。



広報委員会

今年度、広報委員長を自任いたしました。山口草連砲台YEGより出向の田中祐嗣です。

広報は他の委員会と違い、目先の変わった事業を多く取り入れられますので、今年度のスタッフのみのびやらせて頂いております。又、会長の方針も外に積極的にPRするよう言われていますので、その点しつかり検討しているところです。今年度次の様に考えておりますが、皆様にもろろご意見を伺いたすことと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。尚、委員会スタッフのご紹介は総集録にて行いますので是非見て下さい。

今年度の方針

青年部活動の活性化を図るため、情報を収集し発信していくと共に、高青連活動を様々なメディアを用いて、内外に積極的にPRしていく。

- ①機関紙「再生」の編集・発行・配布
- ②日刊発行の「石炭(月刊誌)」、「会議所ニュース(旬刊誌)」による青年部活動の紹介と購読の促進
- ③高青連ホームページの改訂・利用促進
- ④高青連及び高青連活動の対外PR



研修委員会

今年度研修委員長を自任いたしました。秋田県連は火次の町大連YEGより出向させて頂いております藤田でございます。当研修委員会は、担当の副部長久副会長を加えた計10名のメンバーで、如何に全国のメンバーが自分の事業のヒントにあるいは各地域の活性化に貢献できるか、といったテーマで研修メニュー作成を継続中で研修事業が、いくらかでも各メンバーのヒントになれば、これに動くお返しはないと考えております。また、他のメンバーのみならず、当事者としても、研修メニュー作成を通して、皆様以上の成果を享受するつもりです。

平時は専らで勉強ですが、小生は総合衣料販売業を営んでおりますが、ご多分に蒙るこの状況の中、日夜事業の継続・発展に苦闘中であるのが本心であります。そんな中、道の中で現場事業を考へ進めておりましたところ、高青連出向中、道の創業者・ベンチャー支援対策事業が及びました。ダメもとで早速申請を出したところ、おかげさまで当支援事業秋田県第1号の補助を受けることができました。今つくづく高青連出向を感謝しております。

今後一事業主として、また研修委員長として、会社に、地域に、そしてYEGに還元すべく、その名の通り研鑽に励んでいく所存です。一年間よろしくお願ひ致します。



ブロック紹介

役員紹介

▼監事

前田 勲次
岐阜県



▼相談役

吉本 博次
奈良県



▼副会長

北島 重利
徳島県



福田 有史
福岡県



大村 精利
埼玉県



中国ブロック

(理事)
能美 憲二 島根県
岡田 伸政 岡山県
田村 満剛 広島県
田中 祐朗 山口県



ブロック代表理事
澤 健一
(岡山県)

北陸・信越ブロック

(理事)
高野 善誠 石川県
郡子 崇安 正 長野県
高橋 宏平 新潟県



ブロック代表理事
嶋田 茂
(富山県)

北海道ブロック

(理事)
永備 裕明 北海道



ブロック代表理事
村井 剛一
(北海道)

九州ブロック

(理事)
吉武 高史 佐賀県
池田 信二 長崎県
森 一弘 熊本県
山崎 啓 大分県
林 慎浩 宮崎県
大塚 唯典 鹿児島県
堀川 政憲 沖縄県



ブロック代表理事
堀田 義彦
(福岡県)

関東ブロック

(理事)
鈴木 徳介 神奈川県
湯浅 清二 茨城県
篠崎 利和 栃木県
藤野 伸夫 群馬県
田代 正人 埼玉県
鈴木 統 千葉県
高部 三司 静岡県



ブロック代表理事
秋山 純夫
(神奈川県)

東北ブロック

(理事)
中道 博 青森県
藤田 晋市 秋田県
門脇 秀明 岩手県
坂井 政行 宮城県
山田 浩樹 山形県
八巻 稔 福島県



ブロック代表理事
高橋 弘隆
(秋田県)

四国ブロック

(理事)
中村 盛彦 徳島県
水野 幸茂 愛媛県
小松 計夫 高知県



ブロック代表理事
平田 実
(香川県)

近畿ブロック

(理事)
杉本 定幸 滋賀県
首藤 俊一 大阪府
堀井 秀治 兵庫県
岡本 吉良 奈良県
御前 紀明 和歌山県
松葉 幸子 福井県



ブロック代表理事
大村 利和
(京畿府)

東海ブロック

(理事)
竹川 博子 三重県
神原 康雄 愛知県
鈴木 豊 愛知県
鎌田 真悟 岐阜県



ブロック代表理事
中西 勇
(三重県)

APEC SME 2000 REPORT

平成十二年七月十八日(日)二十日(火)の二日間、APECを主として、域内中小企業間の交流の場であり、ビジネス・パートナーシップを促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。APEC SMCは、域内中小企業間の交流を促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。APEC SMCは、域内中小企業間の交流を促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。

十八日(日)には、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。APEC SMCは、域内中小企業間の交流を促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。APEC SMCは、域内中小企業間の交流を促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。

二十日(火)には、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。APEC SMCは、域内中小企業間の交流を促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。APEC SMCは、域内中小企業間の交流を促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。

全国中小企業活性化青年会議会 アントレプレナーズ委員会

本委員会では、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。APEC SMCは、域内中小企業間の交流を促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。APEC SMCは、域内中小企業間の交流を促進する場として、APEC SMC(中小企業委員会)が、シンガポール市で開催された。



日本人女性としてAPECに
おいて初めてスピーチした
竹川博子氏



第20回商工会議所青年部全国大会

鹿児島大会

YEAR 2000

11

16

木

17

金

18

土

19

日

第20回商工会議所青年部全国大会
大会会長 大 舘 唯 眞

全国のYEG会員の皆様!どうかつこって、鹿児島へ来てくれたも
んせ!!
さて、我々鹿児島青年は愛国華人と呼ばれ、その豪快さと獨
逸的な行動力で全国に知られております。

本県は温暖な気候や豊富な温泉など豊かな自然の恵恩を享受
する一方で、火山噴火や台風の影響など常にその脅威にもさらさ
れてきた土地であります。

このように独特な風土の中で愛国華人の気質が育まれ、多くの
英傑が世界へと飛び出していきました。

歴史を紐解くと、「華人の大和朝臣に対する反抗」「薩英戦争とその処置対応の遺言」「明
治維新の先達」等々一いつも「向かひ変わる」時代には後進の先人たちが築かれた「バ
ン」を先導して開拓を打倒してまいりました。今回我々が掲げている「Mother Earth」こ
こから生まれるYEG創世記「まさしくそういう意味においても、2000年を迎えるにあたり、
新たな模様が、今YEGのみならず社会のストラクチャーの中でも要求されているところ
であります。

我々のレベルでどの程度まで、エクスプロージョンが可能かは定かではありませんが、
精一杯鹿児島県連のメンバーと企画立案の集大成をお見せできるものと確信いたしてお
ります。南北500kmに及ぶ国土が有するふんだんの緑と、おいしい空気を思う存分に浴
び、温泉に浸かり心身のリフレッシュをし、「Re-turn to KAGOSHIMA!」を合い言葉に
心ゆくまで鹿児島を堪能して頂ければ幸いです。

全国のYEG会員の皆さん! 西暦2000年の11月16・17・18・19日には手ぐすねひ
かせ、お待ちかねです!!

第20回商工会議所青年部全国大会
大会実行委員長 妹 尾 隆 哉

全国のYEGの皆さん、こんにちは!!「2000年だよ、全国華商!!」
と言うわけで、お待ちしております。いよいよ第20回全国大会
鹿児島大会がやって参ります。開催地テーマは「まんまるかこしま」。
鹿児島県連が一丸となって皆さまを温かい歓迎、YEG天国へご案内
いたします。「これがYEGの全国大会だ!!」を満喫して頂きたい
と思っております。大会の主役はもちろんあなたです。

November 11 2000

16 木

前泊者ゴルフ
YEGヤングリーダー研修会
YEG交流会(前泊者懇親会)

17 金

商青連絡会議・分科会・懇親会・OBサロン
YEG全国まちおこし物産展
ビジネス交流プラザ

18 土

記念式典・記念講演
YEG全国まちおこし物産展
ビジネス交流プラザ

19 日

YEG全国まちおこし物産展

エクスカーション

鹿児島県連の各団体が企画しました。

鹿児島島の自然を食を技を満喫していただく
エクスカーションを準備いたしました。

平成12年11月16日(木)

YEG親睦ゴルフ大会

●いすゞゴルフクラブ●8:00~17:30

Aコース

●11月16日(木)から17日(金)●1泊2日

縄文の街“こくぶ”と
晩秋の霧島路



Bコース

●11月16日(木)から17日(金)●1泊2日

北薩摩千年の旅



Cコース

●11月16日(木)から17日(金)●1泊2日

南薩摩周遊コース



平成12年11月17日(金)

ファミリーエクスカーション

E-1コース

●11月17日(金)●14:30~17:30

鹿児島市内周遊コース
(同伴者用)

平成12年11月18日(土)

D-1コース

●11月18日(土)から19日(日)●1泊2日

奄美大島自然体験ツアー



D-2コース

●11月18日(土)から20日(月)●2泊3日

奄美大島自然体験ツアー
ファミリーエクスカーション

E-2コース

●11月18日(土)●9:30~13:00

鹿児島市内周遊コース
(同伴者用)

Fコース

●11月18日(木)から20日(金)●2泊3日

種子島・屋久島コース

●ご注意

17日(金)および18日(土)に実施いたしますファミリーエクスカーションは青年部メンバーのご家族
など同伴者用のエクスカーションであり、メンバー本人は分科会および記念式典・記念講演と重なる
ため参加できませんのでご注意ください。

▼ウッドベリー・コモン・セント・レイト橋



▲ウォール街

翔生塾 IN アメリカ

「翔生塾を終えて」

評議員会 藤田 貞 悟

六日間のアメリカ研修を終えて、ニューヨークのマンハッタンに帰国されました。

ブランドのメッカリからしく品揃えは各店世界一だと思われまふ。大量の品揃えの中にはやはりアットホームなやパット品もあつて、それぞれはしっかりと一つ一つの筆致（フォント）として成り立っていました。それが、アットホームな感じの雰囲気や所帯の雰囲気によって、それぞれに個性と品揃えをもちあつて出店し、お客様にサービスを提供していました。本場のサービスは、そこに合った価格で、豊富な品揃えで、気楽に、長時間で、ショッピング出来ることなど、思いまふ。自分の店にとつてお客様のラック付けをすることで、お客様が振り、その客層を分析することで、新たな事業を作ることが出来ると思ひました。

佐山氏の講演の中で、「本来のお客様と経営が必要」と言われ、確かに、一年に一個のお客様と、百個買つて下さるお客様は、違うサービスが必要になつてくると思ひ、メリットの提供によってより深い関係になつていく。

10日間の話の中でも、二千以上のDSやGMSが仕入と商品開発をインターネットにて進めはじめたのこそ、どの企業も相対的確保は商品開発しかないことは、解つてきたようである。このままでいくと、小さな小売業などひとたまりもありません。世界オンラインのウォール街は、日本を「ハードル」を越えはじめたといふ情報も入つていくようである。

今後私どもも、一人の社長が頑張っていくのではなく、企業同士が相互組織を作らない限り、行動規範であるアメリカと、商社組織である日本では勝手が決まってくると思ひます。インターネットは日中（企業と個人）よりも、確実に日中（企業間）で発達しているようである。今回の旅で、これからの新事業のヒントと全体の方向（仕入と商品開発）が見え、今後の会社の方針に役立てていきたいと思ひます。

また、一番大切なのは、常に自分を創業原点（「なんのためか」"Return to Basics"）に置いていくことだと思ひました。最後に、同行して下さった皆さんのおかげで沢山のことを学ばせていただきました。また、出発前から無理を聞いていただきましたインゲターラベルの三上さん、本当に行き難うございました。



▲ホワイトブレイズにおいて

▼熱心に講義を受ける塾生



▲ホワイトブレイズ外



◀新橋会長と岸副会長



▲ワロスレポート



▲ホワイトブレイズ市 市議会議員



▼1日目の昼食会場



▲佐山氏の講演

